

日野総合事務所だより



日野川フォトコンテストグランプリ作品「アユ、産卵の時。」（撮影：中谷英明さん）

・・・撮影者コメント・・・

秋から初冬にかけ、日野川はアユの産卵の時を迎える。その数は数万匹であろう、産卵場には多数のアユが群れる。そして、次の世代へと命をつなぐべく体を震わせるのだ。撮影のため川底に這う私の全身各所でもブルブルと産卵の振えが伝わってくる。その営みは夕方から明朝まで夜な夜な続く。

日野川のすばらしさを広く紹介、宣伝する写真を募集した「日野川流域憲章記念事業 日野川フォトコンテスト」（日野川の源流と流域を守る会主催）において、鳥取市のアマチュアカメラマン中谷英明さんの写真「アユ、産卵の時。」がグランプリを受賞しました。ほかにも多数のご応募をいただき、ありがとうございました。グランプリ、金賞、銀賞の作品14点を平成23年3月22日から5月6日までの期間、日野総合事務所1階県民ホールに展示する予定ですので、ぜひ足を運んでご覧ください。

Contents

目次

- ◇県民局(日野郡内の「鳥取力」事業の活動紹介) 2、3
- ◇県民局(「卯乃年因幡伯耆国開運八社巡り」の案内) 4、5
- ◇福祉保健局(みんなで進めよう！地域リハビリテーション) 6
- ◇農林局(林業新規就労者交流会) 7
- ◇日野高校(料理コンテストグランプリ受賞) 7
- ◇日野総合事務所ホームページの新コーナー「日野ごよみ」の紹介 8

鳥取県 創造運動

県では、自ら地域をより良くしていこうとする活動を支援するため、鳥取県創造運動支援補助金を創設しました。

今年度、この補助金を活用し、意欲的に地域づくりに取り組まれた日野郡の6団体の活動をご紹介します。

日南町 日野町

伯耆国たたら顕彰会
ほうしものくに けんしょうかい

会長 佐々木幸人さん

【団体の紹介】
奥日野は、奥出雲と並んで昔から「たたら」と呼ばれる製鉄が盛んでした。この地域を繁栄させた「たたら」の歴史が消えてゆくことを残念に思った有志が集まり、平成22年6月に「伯耆国たたら顕彰会」を立ち上げました。

【活動内容】
奥日野のたたら製鉄と庶民の生活を分かりやすく伝えようと、小説「TATARARA(たたら)」を出版。日野町と米子市で出版記念フォーラムを開いて多くの共感と理解を得ました。

また、日南町と日野町に展示施設「たたらの楽校」(大宮楽舎・根雨楽舎)を開設し、地域の歴史資源である「たたら」のことを楽しく学べる

よう情報を発信しています。
(詳細は前号8ページで紹介しています)

日南町

野土香
のどか

代表 遠藤千嘉子さん



日南町の特産品として売り出すルバーブジャム

【団体の紹介】
日南町大宮の「自然」と「食」を大切にしたいと平成19年に立ち上げた女性5人のグループ。コンニャクやルバーブ(シベリア原産の高原野菜)の商品化、手作り体験教室などを行っています。

【活動内容】
日南町の冷涼な気候がルバーブ栽培に適していることもあり、これを日南町の特産品にしようと、平成21年からルバーブジャム作りに取り組

んでいます。
平成22年度は、色の違う赤色のルバーブの栽培を新しく始めたり、ジャムの酸味さわやかな美味しさや食べ方を伝えるため、瓶ラベルやチラシの改良を進めました。
今年2月には、「食のみやこ鳥取プラザ」(東京アンテナショップ)で試食販売を行い、販路拡大に向けヒントをつかみました。

江府町

奥大山古道保存協議会
おおくやまこうどうほぞんぎょうかい

会長 佐々木満さん



鍵掛地蔵尊遷座式典

【団体の紹介】
奥大山古道(大山道)は、古くからの大山への信仰の道であり、江戸時代初期からは牛馬市への道でもありました。これらの歴史と文化を復活させて後世に伝えたいと、平成22年5月に地元有志が保存協議会を立ち上げました。

【活動内容】
会員や地域住民、鳥取大学の学生などがボランティアとして現地を調査、笹刈り等をして歩道を整備し、江府町の御机鍵掛峠、御机集落、下蚊屋の奥大山古道が復活しました。
平成22年11月に、鍵掛地蔵尊遷座の記念ウォークを開催したところ、約280名が参加。地蔵尊遷座式典のあと、ゆったりと森林散策を楽しみ、御机集落の団子汁や勇壮な下蚊屋荒神神楽を堪能し、地域内外の交流が盛り上がりました。
今後は、奥大山古道の全線整備を目標に、活動を続けていくことにしています。

日南町

豊栄自治会
とよさかえ

会長 福田憲一さん



日南町探訪一周ツアー(樂樂福神社にて)

【団体の紹介】
日南町の中で最も高齢化率が高い

豊栄地区。住民みんなが毎日楽しく過ごせる地域にしようと、自治会役員7名が中心となって取り組んでいます。

【活動内容】

平成22年10月、町内の各まちづくり協議会の協力を得て、「日南町一周探訪ツアー」を開催。神社や寺、文学碑、たたら、ノジュール群、ラベンダー栽培など、知っているようで知らない日南町の地域資源を約40名で見学しました。参加者からは、自分たちの町の良いところを再発見できたと大好評でした。

また、お年寄りが気になることの一つ、遺産相続について司法書士を招いて勉強会を開いたり、地域活性化の成功事例として、鹿児島県の柳谷集落、通称「やねだん」の取り組みについて勉強しました。

これらをきっかけに、住民から「みんなのできごと」「今度は何をしようか」などの声があがっています。

日野町
しいたけマンの会
会長 久代宏一さん

【団体の紹介】

かつては県内有数の椎茸生産地だった日野町。椎茸産産を復活させ、椎茸栽培を通じて山の荒廃を防いだり、里山を再生したいとの強い思いで、平成22年8月に「しいたけマン

の会」が立ち上がりました。20代から60代の7名が中心となって活動しています。

【活動内容】

平成22年10月から、「しいたけマン養成講座」を3回シリーズで開きました。まず山に入って雑木を伐るところからスタート。次に、原木を干して玉伐り、植菌をして雪が解ける頃まで寝かせ、最後は「ぼだ場」作り。1、2年おけば、原木の養分をしっかりと吸って、美味しい椎茸が収穫できます。

また、原木椎茸の魅力を伝える講演会や米子市のNPOと一緒に若者向けの植菌体験を開催。

今年は、滝山公園のつつじ祭に合わせた椎茸狩りや、料理教室なども予定しています。



未来の「しいたけマン」植菌体験中

日南町
楽校展示室整備推進委員会
代表 古都資朗さん

【団体の紹介】

大宮まちづくり協議会の活動の一端として、有志7名が中心となって廃校を利用した地域活性化プロジェクトを立ち上げました。平成21年に

廃校になった大宮小学校を地域住民、帰省客、同窓生の交流拠点にしようとして取り組んでいます。

【活動内容】

旧大宮小学校二階にある古民具、古墳出土品、印賀鋼の展示室を、さうらに見やすく親しみやすくするため、展示品や展示方法の充実を図りました。美術館の学芸員のアドバイスを受けたり、近所の古民家を見学したりして展示室の整備を進めました。

平成22年11月には「昔の民具と語りましよう」と題した地元交流会を開き、地元高齢者4人を講師として招いて、明治から昭和初期の生活用具や農具の名称、使い方を学びました。

旧大宮小学校は展示施設「たたら楽校」やリース作り等ができる「つくし工房」もあり、県内外から視察が訪れるなど、廃校利用の先進事例となっています。



昔の人々の暮らしをしのぶ展示コーナー

平成23年度 鳥取力創造運動 支援補助金のご案内

年3回、事業の募集を行います。
1次募集 3月14日(月)～
4月8日(金)

【補助金の概要】

スタートアップ型(新規分)
上限10万円(補助率10/10)
新たな取組やこれまでの取組の拡充、試行的な取組
スタートアップ型(継続分)
上限10万円(補助率3/4)

他のモデルとなり地域の活性化に貢献する活動
【対象団体の例】
NPO、ボランティア団体、自治会、老人クラブ、企業(社会的貢献的な活動を対象)など

【対象活動】
環境、福祉、地域交流、地域文化、まちづくり、農林水産、観光、地域催事など地域活性化を図る取組

問い合わせ先

県民局企画県民室
電話 0859 72 2086

「卯乃年 因幡伯耆国 開運八社巡り」実施中

県内のパワースポットを巡る企画が2月1日よりスタートしました。

「金持神社」、「福榮神社」、「樂樂福神社」、「福成神社」、「福富神社」、「福積神社」、「豊榮神社」、「富益神社」という何とも縁起の良い名前の八社に加え、今年の干支である「うさぎ」にちなんだ「白兎神社」を巡り、各神社で開運手ぬぐいに朱印を押しましょう。

注目すべきは、いまや全国区となった「金持神社」に続き話題になりつつある「福榮神社」、更に「樂樂福神社」に「福成神社」と、八社のうち四社が日野郡内にあるということです。

ご利益があるに違いない！と思わせる神社が日野郡に集中している・・・今後、県内屈指の縁起の良い地域として注目を集めそうな予感がします。

ぜひ、これを機に地元日野郡の神社はもちろん、県東部や中部の神社も旅行やドライブがてら巡って参拝し、自分だけの開運手ぬぐいを作ってみませんか。

※下の地図のQRコードを携帯電話で読み取ると、周辺地図が表示されます。

★開運手ぬぐいは次の場所で販売しています。朱印は期間中は各神社（白兎神社は社務所、金持神社は札所）に置いてあります。

○販売場所：県観光連盟及び米子市・倉吉市・琴浦町・日南町・日野町の各観光協会等（金持神社、樂樂福神社でも販売しています）
 ○費用：390円（サンキュー）
 ○販売期間：平成23年2月1日～平成23年12月31日

※この企画は、鳥取県への誘客、滞在型観光の促進やリピーター確保につなげるため、社団法人鳥取県観光連盟と鳥取県で企画したものです。

「企画についての問い合わせ」

社団法人 鳥取県観光連盟
 0857(39)2111

金運を求め県内外から年間20万人が足を運ぶ有名神社

金持神社 (日野町金持74)

金持郷は、昔、黄金より勝ると言われた「玉鋼」の産地で、原料の砂鉄が採れる谷を多く所有し、金具の文字で表されているように、鉄(てつ)のことを金(かね)と読んでいた事から、金の採れる谷を多くもつ郷「金持」と呼ばれるようになったと伝えられています。

※朱印は札所。札所営業時間 10:00～16:00

【お問い合わせ先】
 金持神社札所(売店) 0859-72-0481
 日野町観光協会 0859-72-0332

福が栄え幸せを呼ぶ神社、人気急上昇中

福榮神社 (日南町神福124)

古くから「印賀鋼」など全国的に有名な玉鋼を産出し、たたら製鉄で栄えていたこの地は、良質な玉鋼の原料となる砂鉄が採れる山が多く存在します。幸せを呼ぶピンク色の招福袋が販売されるなど、福が栄え幸せを呼ぶ神社として注目を集めています。

【お問い合わせ先】
 日南町観光協会 0859-82-1115
 福栄まちづくり協議会 0859-83-0454

楽しい生活と幸福を招く、ブレイク必至

樂樂福神社 (日南町宮内1101)

人皇第七代孝靈天皇を主神とし、其の御一族を祀る旧県社。古くは鉄生産の祖先神として崇敬された日野郡開拓鎮護の総氏神であり、創建は千百年以上の昔と伝わっています。開運招福・願望成就の福の神として多くの人々が訪れています。

【お問い合わせ先】
 樂樂福神社社務所 0859-82-1619
 日南町観光協会 0859-82-1115

福に成る、成功したい人は要注目

福成神社 (日南町神戸上2317)

創建は不明。本殿、幣殿、拝殿、随神門、参籠所があり、社殿から境内を望むと正面に大蔵山が広がります。「荒神神楽」はここから伝わったと言われています。災い転じて福と成す!成功祈願に訪れる参拝客が多く見られます。

【お問い合わせ先】
 日南町観光協会 0859-82-1115

※この地図を許可なく複製、転用することを禁じます



みんなで進めよう。地域リハビリテーション

～日野郡地域リハビリテーション意見交換会を開催しました～



● 「地域リハビリテーション」とは？

「リハビリテーション」という言葉から、病院などで行われる「機能を回復する訓練」をイメージされる方が多いと思いますが、ここでは、単に「機能回復」という狭い意味だけではなく、障がいのある人や高齢者などが自分らしく生きていくために関係する全ての活動という広い意味で捉えています。

つまり、障がいのある人や高齢者、その家族などの誰もが住み慣れた所で、そこに住む人々と共に安心して、いきいきとした生活を過ごすことができるように、普段の暮らしの中で関わるあらゆる人々（リハビリスタッフ・看護師・介護士・ホームヘルパー、ご近所さんなどなど）が同じ思いでリハビリテーションを支援することを「地域リハビリテーション」といいます。

● 日野郡地域リハビリテーション連絡協議会について

日野郡では、平成20年度から日野病院を推進拠点に、郡内の病院、介護老人保健施設、地域包括支援センターなどが協力しながら、日野郡地域リハビリテーション連絡協議会を設置し、地域リハビリテーションを進めていくために活動しています。

平成22年度の活動の一つとして、住民の方々に地域リハビリテーションを知っていただくことを目的に、各町に連絡協議会のメンバーが出向いて意見交換会を開催しました。

地域リハビリテーション意見交換会の様子

日南町で2回、日野町、江府町で各1回意見交換会を開催し、民生児童委員、自治会役員、老人クラブなどの多くの方々に参加していただき活発な議論が交わされました。

地域リハビリテーションには、広い意味があることがわかりました。

認知症の方、介護される方、難しいけど両方の支援が大切。

地域のコミュニティーの再生を目指さないといけないと思う。



問い合わせ先

福祉保健局 福祉保健課 電話 0859-72-2036

日野川流域の

林業新規就業者交流会を開催しました

日野川流域では、3年以内に林業に新規就業された方が36名おられますが、研修等を各事業所ごとで行っているため、同じ町内に就業しているながら出会う機会が少ないのが現状です。

そこで、新規就業者の方々が、同じ林業に就業する者としての連帯を深めて、林業に定着していけるよう、平成23年1月に交流会を開きました。参加者19名は、林業に就いた動機などの自己紹介の後、「掛かり木処理方法」、「冬場の仕事内容」、「境界確認の方法」、「参加したい研修内容」について情報交換するなど、活発な意見を交わしました。

また、農林局から「掛かり木処理」などに便利な道具などの紹介も行い、会の最後には、今後とも研修会等を通じてながら交流を深めていくことを参加者全員で確認しました。

今回の交流会では、参加者の林業に対する前向きな姿勢が改めて伝わってきました。今後、より連携を深めお互いが技術を磨き合っていけることを期待します。

～交流会での主な意見～

- 他の事業所の現場（伐採方法、搬出方法）などを見てみたい。
- 伐採した木を市場に出荷した後の流通がどうなっているのかを知りたい。
- もっと気軽に話ができるような雰囲気に参加者と交流をはかりたい。
- 今後の林業について行政がどのように考えているのかを知りたい。



交流会（日野総合事務所）

問い合わせ先

農林局林業振興課
電話 0859 72 2018

日野高校から

祝！料理コンクールでグランプリ受賞！

平成22年12月に、県内農業高校4校が県特産の食材を使った料理で腕を競う「第15回農業高校対抗料理コンクール」が行われ、日野高校生4名のチームが見事グランプリを受賞しました。

今回のコンクールのテーマは「鳥取牛を使ったどんぶり」。各校オリジナルの和洋どんぶりが出そろい、近年にないハイレベルな戦いとなりました。

日野高校からは去年グランプリを受賞した4名が出場し、連覇を目標に、限られた練習時間の中で思考錯誤を繰り返して完成させた献立『洋風ちらし寿司のミートオムレツ丼』『和牛テールのミネストローネ』『梨のムース』の三品を料理しました。

競技の途中には思いもよらない圧力鍋のトラブルが発生しましたが、チームワークで乗り切り、見事グランプリを受賞し連覇の目標を達成することができました。

受賞発表の瞬間、感極まって涙ぐむ生徒の姿もみられ、結果を出すために頑張ってきたプレッシャーをうかがい知ることができました。



左：オムレツ丼
右上：ミネストローネ
右下：ムース

左から松本さん、小林さん、中前さん、精山さん



日野高校

問い合わせ先

鳥取県立日野高等学校
日野町根雨310
電話 0859 72 0365



石こけしのおひのちゃん

はじめまして。私は、昨年11月に日野総合事務所ホームページにできた新コーナー「日野ごよみ」のキャラクター「おひのちゃん」です。日野町の民芸品“石こけし”がモデルの昔風女の子です。よろしくね。
「日野ごよみ」では、職員が取材した日野郡内のイベントや旬な情報、実際体験したこと、お得な情報などを皆さんへお届けしています！
さまざまな話題を発信していますので、ぜひ一度のぞいてみてくださいね。

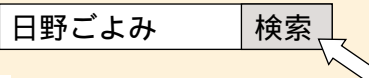


こんな感じの
ページです...

これまでの掲載記事タイトル(抜粋)

- オシドリ観察へ行こう!(H22・11・12)
- 除雪車両出発式(H22・11・19)
- 亀、カメ、かめ(H22・11・25)
- 福栄神社の黄金を踏む(H22・11・26)
- つけもの名人コンテスト(H22・11・29)
- 金運祈願は金持神社へ!(H23・1・6)
- 江府町の美用レディースがテレビで紹介(H23・1・25)
- アペゼの焼きドーナツが人気です(H23・1・28)
- 日南町で伝統芸能祭 日南の四季 開催(H23・1・28)
- 野土香のルバーブジャムとコンニャク、東京へ(H23・2・9)
- 雪の石霞溪(せっかけい)!(H23・2・14)
- 早大生の江府町Project!(H23・2・16)
- 日野郡一(?)大きな花が開花間近!(H23・2・28)
- あのアメダス観測所「茶屋」はこんなところ(H23・2・21)
- コンニャク開花!! はたしてにおいは??(H23・2・24)
- 公務員川柳のご紹介(日野バージョン)!(H23・3・1)

インターネット検索バーに「日野ごよみ」と入力して検索してください。



<http://www.pref.tottori.lg.jp/hinogoyomi>
皆さんからの情報をお待ちしています。
「日野ごよみ」コーナーに掲載してほしい話題などがありましたら
下記まで連絡してください。

【連絡先】県民局企画県民室 ホームページ「日野ごよみ」担当
電話 0859-72-2083 E-mail h-kenminkyoku@pref.tottori.jp

